

## 第7回予算決算審査特別委員会 要点記録

開閉会日時		令和8年3月9日 月曜日		開会	14:01	会議場所		別海町議会 議場	
				閉会	16:26				
議員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	7 番	横田 保江	出席	13 番	中村 忠士	出席
	2 番	吉田 和行	出席	8 番	田村 秀男	出席	14 番	佐藤 初雄	出席
	3 番	高橋眞結美	欠席	9 番	小椋 哲也	出席	15 番	戸田 憲悦	出席
	4 番	伊勢 徹	出席	10 番	外山 浩司	出席	16 番	西原 浩	出席
	5 番	貞宗 拓雄	出席	11 番	今西 和雄	出席			
	6 番	宮越 正人	出席	12 番	松原 政勝	出席			
出席説明員	理事者 機関の長等	町長		副町長		教育長		代表監査委員	
		曾根 興三	欠席	浦山 吉人	出席	相澤 要	出席	竹中 仁	欠席
		選挙管理委員長		農業委員会会長					
	永田 雅夫		欠席	信夫 重勝	欠席				
	幹部職員	総務部長		総合政策部長		経営管理部長		福祉部長	
		選挙管理委員会書記長		地域総政課長		財政課長			
		伊藤 輝幸	出席	松本 博史	出席	寺尾 真太郎	出席	宮本 栄一	出席
		保健生活部長		産業振興部長		建設水道部長		別海病院事務長	
		小川 信明	出席	小野 武史	出席	外石 昭博	出席	三戸 俊人	出席
		会計管理者 出納室長		教育部長		農業委員会事務局長		監査委員事務局長	
		干場 富夫	出席	干場 みゆき	出席	川畑 智明	出席	木戸口 誠	出席
		総務部次長 西春別支所長、西公民館長		総務部次長 税務課長		総務部次長 総務防災・基地対策課長		総合政策部次長 総合政策課長	
		竹中 利哉	欠席	松田 勝広	出席	岩口 裕昭	出席	小村 茂	出席
		福祉部次長 福祉課長		保健生活部次長 保健課長・こども家庭センター長		保健生活部次長 町民課長		産業振興部次長 水産みどり課長	
		石戸谷 友絵	出席	千葉 宏	出席	谷村 将志	出席	大坂 恒夫	出席
		建設水道部次長兼 上下水道課長		教育部次長 生涯学習センター長・中央公民館長		教育部次長 学校教育課長・学校給食センター長		教育部次長 学務課長	
	新堀 光行	出席	福原 義人	出席	田畑 直樹	出席	角川 具哉	出席	
	課長職 ほか	情報広報課長		尾岱沼支所長 東公民館長		人事財産課長		介護支援課長	
		山田 哲哉	出席	門間 勝司	出席	齋藤 陽	出席	高橋 勇樹	出席
		老人保健施設すこやか事務長		生活環境課長		母子健康センター長		農政課長	
		渡辺 久利	出席	上田 健一	出席	根本 博美	出席	皆川 学	出席
		商工観光課長		管理課長		建築住宅課長		事業課長	
		堀込 美穂	出席	入田 浩明	出席	廣島 静治	出席	佐竹 和仁	出席
		別海病院事務課長		指導参事		生涯学習課長 総合スポーツセンター館長		図書館長 郷土資料館長	
榎木 直人	出席	瀬川 航平	欠席	立澤 雅彦	出席	堺 啓	欠席		
事務局職員	事務局長	入倉 伸顕	事務局主幹	木幡 友哉	合計	2名			
傍聴者数	一般	0名	議会モニター	0名	議会サポーター	0名			
	報道関係者	0名			合計	0名			

会議に付した事件及び会議結果など		
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。	
委員長 7番 横田	14:01 開会 開会挨拶 出席委員 15名、欠席委員 1名、会期 1日	
委員長 7番 横田	令和7年度別海町一般会計補正予算 歳入 区分項ごとに審査する。	
委員 2番 吉田	項) 使用料 目) 土木使用料 △7,022千円 ①地域対応活用計画住宅使用料3,656千円減額の理由は。 ②当初の見込入居者件数とのずれはあったか。	
建築住宅課長 廣島	①地域対応活用計画住宅使用料減額の要因は、別海パイロットスピリッツが当初12室を希望していたが、シーズン開幕当初は8室にとどまり、シーズン終了後は選手退団等により、さらに減少したことである。 ②町営住宅使用料702万2,000円の減額要因は、地域対応活用計画住宅使用料365万6,000円減と町営住宅使用料381万7,000円減が主因である。町営住宅は当初235件を見込んだが、221件の14件減となった。	
委員長 7番 横田	歳入終了	
委員長 7番 横田	歳出 区分項ごとに審査する。	
委員 9番 小椋	項) 総務管理費 目) 職員管理費 事業名) 職員人材育成確保事業 △1,060千円 ①減額の理由。特に予定していたが実施できていない、目標に達していない研修があるのか。	
人事財産課長 齋藤	①研修センターでの個別専門研修がオンラインでの参加可能となり複数名参加できたこと、健康上の理由で参加できない職員がいたことで研修旅費66万7,000円を減額した。資格取得費助成金は10名分予算に対し申請者2名となった。全体研修は予定以上に開催でき、概ね予定どおりの研修実施状況である	
委員 9番 小椋	項) 総務管理費 目) 企画費 節) 負担金補助及び交付金 細節) 町振興奨励事業補助金 事業名) 振興奨励防犯灯維持管理等助成事業 △3,412千円	
総合政策課長 小村	①減額の理由。防犯灯の新規設置や修繕についての状況把握は町内会だけで実施しているのか。 ①電気料高騰により電気料は増額だが、別海連合町内会で予定していた防犯灯修繕の計画変更により令和7年度実施が見送られたため減額となった。各町内会が防犯灯の点検調査を行い、必要に応じて町へ補助申請する制度である。新規設置等の申請時は町も現地確認を行っている。	
委員 9番 小椋	項) 総務管理費 目) 企画費 節) 負担金補助及び交付金 細節) コミュニティ助成事業補助金 事業名) コミュニティ助成事業 △2,400千円 ①1つの町内会が対象外となったとのことだが、その理由は。	
総合政策課長 小村	①一般財団法人自治総合センターが宝くじ社会貢献広報事業として実施している事業で、全国からの応募件数や申請総額を踏まえ同センターの予算範囲内で決定される。1自治体当たり2事業まで申請可能だが、令和7年度は優先順位上位から1事業のみが採択された。	
委員 13番 中村	項) 総務管理費 目) 企画費 事業名) 地域おこし協力隊推進事業(総合政策部所管分) △101,739千円	

地域創生課長	松本	<p>①全員協議会で「募集に対する応募がなかった要因のほか、応募があっても適切な人材として採用に至らなかったことによる減額」との説明があったが、それぞれの所管ごとの具体的な応募状況は。</p> <p>①情報広報課 1 名の募集に対し 5 件応募、総合政策課 2 名の募集に対し 9 件応募、地域創生課 45 名の募集に対し 180 件応募、生活環境課 1 名の募集に対し 4 件応募、商工観光課 4 名の募集に対し 29 件応募である。延べ 227 名、実人数 111 名の応募となった。</p>
委員 13 番 地域創生課長	中村 松本	<p>・応募があっても適切な人材として採用に至らない状況についての現状での認識を伺う。</p> <p>・応募分野をより詳細にして募集をかけているが、応募者の居住地が条件に合致しない、地域おこし協力隊制度や別海町について十分調べずに応募する方が多い。着任後の地域を知る努力が見込まれない方については採用を見送っている。</p>
委員 9 番	小椋	<p>項) 総務管理費 目) 企画費</p> <p>事業名) 地域おこし協力隊推進事業 (総合政策部所管分) △101,739 千円</p> <p>①3 月時点での隊員人数の当初予定の達成状況 (できれば地域おこし協力隊全体での状況)</p>
地域創生課長	松本	<p>①現在 109 名の任用枠で予算計上している。新規採用予定 55 名のうち既に着任 17 名、今年度退任 7 名で、予算上の任用数 71 名にとどまり達成率 65%である。内定済み 18 名、内定の可能性ある方 10 名前後が見込まれ、今年度事業全体で 100 名程度の採用に関わることができる見込みである。</p>
委員 13 番	中村	<p>項) 総務管理費 目) 企画費</p> <p>事業名) I ターン女子による女性活躍社会推進事業 △10,853 千円</p> <p>①減額の理由。</p>
地域創生課長	松本	<p>①雇用型協力隊を想定していた視察調査関連費用を委託型に変更したため普通旅費 412 万 6,000 円と自動車借上料 90 万円を減額した。女性協力隊委託型 10 名予定が 7 名着任にとどまり、着任タイミングが年度後半にずれ込んだことで業務委託料 569 万 3,000 円を減額した。</p>
委員 13 番	中村	<p>項) 総務管理費 目) 企画費</p> <p>事業名) 人材採用・定着支援事業 △12,861 千円</p> <p>①減額の理由。</p>
地域創生課長	松本	<p>①看護師・保育士等専門職採用が看護師 1 名のみで広告費 610 万 6,000 円減、協力隊 3 名予定中 1 名未採用で業務委託料 302 万 9,000 円減、システム使用料 195 万 8,000 円減、研修定着経費 176 万 8,000 円減が主な理由である。</p>
委員 13 番	中村	<p>項) 総務管理費 目) 企画費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) Uターン加速事業補助金 事業名) 社会勉強バックアップ・Uターン加速事業 △6,321 千円</p> <p>①減額の理由。</p>
地域創生課長	松本	<p>①金融機関との調整に時間を要し年度内早期開始ができなかった。金融商品としてのサービス実施とワンストップ窓口化を目指したが、金融機関側で保証協会・システム会社との調整、理事会合意形成等に相当時間を要した。年度後半に合意形成され協定締結となったが、実際の経費発生は新年度にずれ込むため全額減額した。</p>
委員 2 番	吉田	<p>項) 総務管理費 目) 企画費 節) 投資及び出資金 細節) 地域商社出資金</p> <p>事業名) 地域商社構築支援事業 △10,000 千円</p> <p>①全員協議会で、地域商社設立の出資をやめ、100%民間出資に切り替えたとの説明があったが、今後の OTOMONO 事業に町の意向等は反映されるのか。</p>

地域創生課長	松本	①財源は民間資本だが人員確保は地域おこし協力隊を活用し町が関与する。OTOMONO 事業は各分野施策ごとに事業を行い、補助金申請段階で所管との協議により町の関与を確保する。地域商社は加工業を柱とし、ふるさと納税返礼品開発等で町と連携し、将来的には地域通貨運用も期待している。
委員 13 番	中村	項) 総務管理費 目) 企画費 事業名) 別海町ふるさと納税大学院運営事業 △18,924 千円 ①減額の理由。
地域創生課長	松本	①大学生の地域おこし協力隊インターン生受入れを報償金から業務委託に切り替えたため報償金を全額減額、雇成型協力隊の着任遅れで普通旅費 662 万 2,000 円減額、委託型協力隊進捗遅れで業務委託料 736 万 8,000 円減額が主因である。来年度は雇成型 5 名・委託型 5 名計 9 名が活動予定で内定等が進んでいる。
委員 1 番	市川	項) 総務管理費 目) 諸費 節) 負担金補助及び交付金 細節) 別海高等学校タブレット購入助成金 事業名) 別海高等学校教育支援事業 △1,092 千円 ①減額の積算根拠は。
学務課長	角川	①当初 105 件分の予算を計上したが、実績により 85 件分と見込み 20 件分 109 万 2,000 円を減額した。令和 7 年度入学生 90 名のうち 85 名が利用している。
委員 1 番	市川	項) 戸籍住民基本台帳費 目) 戸籍住民基本台帳費 事業名) 出産祝金贈呈事業 △2,307 千円 ①1 人 10 万円の補助で約 230 万円の減額だが、予定よりも 23 人分出生が少なかったということなのか。
町民課長	谷村	①23 名は実人数ではなく見込み人数である。当初 104 名見込みに対し 3 月補正時点での支給実績 62 名のため、年度末までの贈呈予定数を 81 名に下方修正し 23 名分 230 万円を減額した。
委員 1 番	市川	項) 社会福祉費 目) 社会福祉総務費 節) 扶助費 細節) 交通費扶助費 事業名) 高齢者等バス・ハイヤー共通利用券交付事業 △5,510 千円 ①追加交付分の減額影響額はいくらか。
福祉課長	石戸谷	①減額 551 万円のうち追加交付分の減額影響額は 400 万円である。当初 300 人分を想定したが 200 人分となった。
委員 9 番	小椋	項) 社会福祉費 目) 社会福祉総務費 節) 扶助費 細節) 交通費扶助費 事業名) 高齢者等バス・ハイヤー共通利用券交付事業 △5,510 千円 ①減額の理由。共通利用券の利用率（可能であれば、西と中央と東での利用率）
福祉課長	石戸谷	①拡充した 2 万円分共通利用券の追加交付を 300 人・利用率 100%で 600 万円計上したが、追加交付 134 人分で年度内使い切り見込みが低いため 400 万円減額した。利用率は交付者総数 1,144 人で約 42%。地域別では本所 935 人で 43%、西春別地区 163 人で 34%、尾岱沼地区 46 人で 39%である。
委員 9 番	小椋	項) 社会福祉費 目) 社会福祉総務費 事業名) 福祉灯油助成事業 △1,357 千円 ①減額の理由。対象者に対する助成率と未申請者に対してどのような対応を行ったか。
福祉課長	石戸谷	①12 月末の申請期限で執行額確定による減額である。対象見込み世帯数 770 世帯に対し支給世帯数 632 世帯で助成率 82%。未申請者にはホームページ・広報・LINE 等による周知、

		民生委員や地域包括支援センターを通じた申請促進、生活保護世帯への文書発送・個別連絡を行った。
委員長 7番	横田	14:58 暫時休憩
委員長 7番	横田	15:05 再開
委員 13番	中村	項) 保健衛生費 目) 予防費 事業名) 新型コロナウイルスワクチン接種事業 △10,436 千円
保健課長	千葉	①減額の理由。 ①令和7年度から定期接種として実施し、対象者4,600名に対し接種見込み1,030人で事業開始したが、令和8年1月末現在の接種件数194件のため接種見込み件数を224名に大幅修正し減額した。
委員 13番	中村	・当初予算から約8割の減額となった理由をどう考えているか伺う。
保健課長	千葉	・接種率低下は全国的傾向で、主要因は接種有料化による経済負担、5類移行による危機意識変化、副反応懸念や繰り返し接種への疲労感が考えられる。正確な情報提供と接種しやすい環境づくりに努める。
委員 13番	中村	項) 保健衛生費 目) 予防費 事業名) 任意予防接種助成事業 △1,475 千円
保健課長	千葉	①減額の理由。 ①高校生相当以下対象者2,070名で延べ接種人数見込みを2,003名で予算を措置したが、1月末現在の延べ接種者数が1,174名で見込みより少なかったため検診委託料等を減額した。
委員 13番	中村	項) 保健衛生費 目) 予防費 節) 委託費 細節) 検診委託料 事業名) 帯状疱疹予防接種助成事業 △9,450 千円
保健課長	千葉	①減額の理由。 ①令和7年度から定期接種実施により、対象者数の増加と町民意識の高まりから申請件数720件と見込み補正予算措置したが、1月末現在の申請件数が303件で当初の見込みより少なかったため減額した。
委員 1番	市川	項) 保健衛生費 目) 環境衛生費 事業名) エゾシカ被害対策事業 △2,955 千円
生活環境課長	上田	①減額の主な要因は。 ①捕獲実績が2,468頭で目標の2,500頭に近いが、目標との差32頭分と成獣・幼獣の違いによる町負担金額差で買上げ金93万8,000円減となった。有効活用頭数増加により処分頭数減少で運搬業務委託と処分委託の減が主因である。
委員 9番	小椋	項) 保健衛生費 目) 母子センター費 事業名) 新生児聴覚検査費助成事業 △217 千円
母子健康センター長	根本	①減額の理由。検査の受診率。 ①当初見込み96名に対し助成見込み64名で21万7,000円減額した。受診率は98.2%で1名が未受診だが、海外出生後帰国し新生児期に検査未実施のケースである。
委員 1番	市川	項) 保健衛生費 目) 母子センター費 事業名) 妊産婦安心出産支援事業 △1,863 千円
母子健康センター長	根本	①出産する方の全体の何割程度が実際に利用したのか。 ①申請率97.1%である。申請可能な妊産婦70名中2名が未申請で、いずれも海外出産や里帰り先長期滞在のケースである。現在申請勧奨を行っている。

委員 16番	西原	<p>項) 農業費 目) 農業振興費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 畜産クラスター事業補助金 事業名) 畜産クラスター事業 1,196,862 千円</p> <p>①令和7年度の補正から、今までの収益性向上タイプに加えて、持続性向上タイプが加わったが、今回の補正予算はそれぞれのタイプによる補正なのか。</p> <p>②道東あさひ農協6件、中春別農協1件とあるが、それぞれの施設整備の事業費用、施設面積、搾乳ロボットなどの機械導入事業費用。</p> <p>③今回から新規で加わった持続性向上タイプによる、施設の補改修・機械導入事業は含まれているか。</p>
農政課長	皆川	<p>①道東あさひ畜産クラスター協議会6件が持続性向上タイプ。中春別畜産クラスター協議会1件は収益性向上タイプとなっている。</p> <p>②道東あさひ協議会が6件あり、道東あさひ1件目、フリーストール牛舎で1億5,139万円、施設の面積が1,762.7平方メートル。その他機械の導入は1億3,860万円。2点目の施設整備がフリーストール牛舎で2億5,252万8,000円、施設の面積が2,996.5平方メートル。機械は2億9,194万円。3件目、フリーストール牛舎で3億7,679万6,000円、施設の面積が3,779.6平方メートル。機械は3億3,660万円。残りの3件は、全て育成舎で、4件目は5,799万2,000円、施設の面積が714.3平方メートル。機械の導入はなし。5件目は4,659万5,000円、施設の面積が599.7平方メートル。6件目は1億2,333万6,000円、施設の面積が1,524.8平方メートル。中春別畜産クラスター協議会は、機械導入はなく、バンカーサイロで6,434.64立方メートル。事業費は9,099万円。</p> <p>③今回から新たに加わった持続性向上タイプによる施設の補修は含まれていない。また、施設整備に付帯しない単体の機械導入事業は、市町村を経由しない手続となっているので、本補正には含まれていない。</p>
委員 16番	西原	<p>・事業費として捉えてよいか。</p>
農政課長	皆川	<p>・総事業費ではなくて、それぞれの費目ごとの事業費。</p>
委員 9番	小椋	<p>項) 農業費 目) 農業振興費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 経営継承・発展支援事業補助金 事業名) 経営継承・発展支援事業 △4,481 千円</p> <p>①申請件数（助成実績の件数ではなく）</p>
農政課長	皆川	<p>①当初8件申請見込みだったが1件が申請取りやめ、残り7件を国へ申請し5件が採択された。</p>
委員 1番	市川	<p>項) 広域農業対策費 目) 広域農業推進費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 道営草地整備事業負担金 事業名) 道営草地整備事業 △35,111 千円</p> <p>①各地区大幅に減額されているが、予算を最大限に使えなかった大きな要因は。</p>
農政課長	皆川	<p>①農業者希望による事業実施中止・先送り、施工業者人員不足等により整備先送りとなり、整備面積減少に伴い事業費減額となった。地区完了までには農業者希望の整備は完了する予定である。</p>
委員 1番	市川	<p>項) 広域農業対策費 目) 広域農業推進費</p> <p>事業名) 畜産担い手総合整備型再編整備事業 △8,641 千円</p> <p>①各地区大幅に減額されているが、予算を最大限に使えなかった大きな要因は。</p>
農政課長	皆川	<p>①道営事業と同様に農業者希望による中止・先送り等で整備面積減少に伴う事業費減少である。地区完了までに農業者希望面積は全て完了予定である。</p>
委員 1番	市川	<p>項) 広域農業対策費 目) 広域農業推進費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 自給飼料生産力強化対策事業補助金</p>

農政課長	皆川	<p>事業名) 自給飼料生産力強化対策事業 △7,852 千円</p> <p>①大幅に減額されているが、予算を最大限に使えなかった大きな要因は。</p> <p>①草地生産性向上事業で 12 月補正増額後の精査により、対象面積は変わらないが上限単価に満たない施工があり減額となった。施工完了後でなければ正確な事業費把握ができないため執行残は発生するものである。</p>
委員 9 番	小椋	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 起業家支援事業補助金 事業名) 起業家支援事業 △12,690 千円</p> <p>①減額の理由。新規開業・新分野進出、経営拡大、空き店舗利活用、それぞれの利用件数と金額。</p>
商工観光課長	堀込	<p>①2 月末現在で新規開業 5 件、新分野進出 1 件、経営拡大 3 件、空き店舗利活用 3 件の計 12 件で補助額 3,311 万 5,000 円である。当初予算で空き店舗利活用 4 件分の想定や実際の申請が補助上限額に満たないことが多く減額した。</p>
委員 13 番	中村	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) U I J ターン新規就業支援事業補助金 事業名) U I J ターン新規就業支援事業 △1,000 千円</p> <p>①近年執行がないが、それについてどう考えているか。</p>
商工観光課長	堀込	<p>①令和 7 年度も問合せはあったが該当者がなく実績ゼロである。国基準による道策定計画で実施するため対象要件が限定的で合致しにくい課題があるが、道内 140 市町村が参加する事業で移住先選定要素となり得るため事業継続は必要である。</p>
委員 13 番	中村	<p>項) 商工費 目) 商工業振興費</p> <p>事業名) 中小企業省エネルギー化支援事業 △4,730 千円</p> <p>①減額の理由。どのような周知を行ったか。</p>
商工観光課長	堀込	<p>①25 件程度の申請見込みに対し最適化診断を受ける事業者が想定より少なく、3 月頭現在で申請 3 件と大幅に下回り減額した。6 月に事業説明会開催、広報・ホームページ・商工会を通じた周知を実施した。</p>
委員 1 番	市川	<p>項) 住宅費 目) 住宅管理費 節) 負担金補助及び交付金</p> <p>細節) 既存住宅耐震改修費補助金 事業名) 既存住宅耐震改修推進事業 △1,778 千円</p> <p>①事業化しているのに使われていない理由をどう考えているのか。</p>
建築住宅課長	廣島	<p>①昭和 56 年以前の旧耐震基準住宅の多くは老朽化が進み、補助金活用でも所有者費用負担が発生することが最大の理由である。耐震改修工事では断熱性能や見た目の快適さが変わらないことも要因である。地域おこし協力隊による個別訪問調査でも多くの方が耐震化に関心がないと回答している。</p>
委員 1 番	市川	<p>・今後この事業をどうしていこうと考えているか伺う。</p>
建築住宅課長	廣島	<p>・道内 109 自治体中 51 自治体が過去 5 年間で事業を廃止したが、本町では数件の問合せがあり町民の選択肢として継続が必要である。令和 7 年度から北海道が新たな補助メニューを整備し、設計費 10 万・改修費 70 万から設計・改修セット 140 万に 60 万円アップした。令和 8 年度からこのメニューを追加し予算計上した。</p>
委員 9 番	小椋	<p>項) 消防費 目) 災害対策費</p> <p>事業名) 自主防災組織育成事業 △998 千円</p> <p>①減額の理由。訓練や購入の予定がどのように変更となったか。</p>
総務防災・基地対策課		<p>①業務委託料は尾岱沼地区厳冬期防災訓練でのコンティナーサウナ移設を予定したが訓練中止で</p>

長 岩口		執行見込みなしとなった。各種団体補助金は備蓄品購入支援事業 1 件 20 万円 4 団体分、訓練実施支援事業 1 件 5 万円 3 団体分を予算化したが、実績は備蓄品購入 20 万円 1 団体、訓練支援 5 万円・4 万円各 1 団体ずつ計 2 団体で約半分の 45 万円を減額した。
委員 1 番	市川	<p>項) 教育総務費 目) 教育指導費</p> <p>事業名) 生きるカアッププロジェクト事業 △2,222 千円</p> <p>①減額の主な要因は。</p>
学校教育課長	田畑	①当初道外 14 名の教諭視察研修を予定していたが、道外 6 名・道内 8 名に視察研修先を一部変更したため、費用弁償 150 万 4,000 円・事業旅費 59 万 8,000 円を減額した。より効果的な授業改善プロジェクト推進のため 5 つのプロジェクトチームを編成し研究推進することとした。
委員 1 番	市川	<p>項) 小学校費 目) 教育振興費 節) 備品購入費 細節) 教育教材等購入費</p> <p>事業名) 小学校コンピュータ整備事業 △13,447 千円</p> <p>①減額の主な要因は。</p>
学務課長	角川	①当初予定タブレット端末より購入時選定端末が安価となったこと、導入台数が当初 805 台から 777 台の 28 台減となったことが主因である。
委員 1 番	市川	・児童の数によって、台数が変わったということか。
学務課長	角川	・当初予算のときは、前年度の 5 月 1 日現在の児童数で台数を予定していたが、今年の 5 月 1 日現在の人数が減ったため、この台数となっている。
委員 1 番	市川	<p>項) 中学校費 目) 教育振興費</p> <p>事業名) 中学校コンピュータ整備事業 △18,420 千円</p> <p>①減額の主な要因は。</p>
学務課長	角川	①中学校も同様に安価な端末選定と、生徒用タブレット 489 台から 439 台の 50 台減、教職員用 125 台から 100 台の 25 台減が主因である。
委員 1 番	市川	・安価になったがスペックは変わらないということか。
学務課長	角川	・国補助を受けた都道府県単位共同調達により CPU 処理速度を N100 から N4500 に変更し安価となったが、文科省基準はクリアしている。
委員長 7 番	横田	歳出終了
委員長 7 番	横田	総括質疑なし。
委員長 7 番	横田	令和 7 年度別海町一般会計補正予算の質疑終了。
		15:56 暫時休憩
		16:04 再開
委員長 7 番	横田	令和 7 年度別海町国民健康保険特別会計補正予算
委員長 7 番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7 番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7 番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。
委員長 7 番	横田	歳出質疑なし。
委員長 7 番	横田	総括質疑なし。
委員長 7 番	横田	令和 7 年度別海町国民健康保険特別会計補正予算の質疑終了。
委員長 7 番	横田	令和 7 年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算
委員長 7 番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7 番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7 番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。

委員長 7番	横田	歳出質疑なし。
委員長 7番	横田	総括質疑なし。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算の質疑終了。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町介護保険特別会計補正予算
委員長 7番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳出質疑なし。
委員長 7番	横田	総括質疑なし。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町介護保険特別会計補正予算の質疑終了。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算
委員長 7番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳出質疑なし。
委員長 7番	横田	総括質疑なし。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算の質疑終了。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町立別海病院事業会計補正予算
委員長 7番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳出質疑なし。
委員長 7番	横田	総括質疑なし。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町立別海病院事業会計補正予算の質疑終了。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町水道事業会計補正予算
委員長 7番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。
委員 10番	外山	項) 総務費 節) 委託料 △8,388千円
		①水道事業計画等作成事業 8,170千円の減額理由について。
上下水道課長	新堀	①水道事業ビジョンと経営戦略の二本立て委託で、入札執行による減額が最大の要因である。設計段階で労務単価上昇を見込んだが想定ほどの上昇でなく、入札執行によりかなりの減額があった。
委員長 7番	横田	歳出終了。
委員長 7番	横田	総括質疑なし。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町水道事業会計補正予算の質疑終了。
委員長 7番	横田	令和7年度別海町下水道等事業会計補正予算
委員長 7番	横田	歳入 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳入質疑なし。
委員長 7番	横田	歳出 区分項ごとに審査する。
委員長 7番	横田	歳出質疑なし。

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

総括質疑なし。  
令和7年度別海町下水道等事業会計補正予算の質疑終了。  
各会計補正予算討論・採決  
令和7年度別海町一般会計補正予算（第9号）（町長提出議案第12号）  
討論なし。  
採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第12号 原案可決  
令和7年度別海町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）（町長提出議案第13号）  
討論なし。  
採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第13号 原案可決  
令和7年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算（第4号）（町長提出議案第14号）  
討論なし。  
採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第14号 原案可決  
令和7年度別海町介護保険特別会計補正予算（第2号）（町長提出議案第15号）  
討論なし。  
採決

異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田

議案第15号 原案可決

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

令和7年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（町長提出議案第16号）  
討論なし。  
採決  
異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第16号 原案可決  
令和7年度町立別海病院事業会計補正予算（第3号）（町長提出議案第17号）  
討論なし。  
採決  
異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第17号 原案可決  
令和7年度別海町水道事業会計補正予算（第3号）（町長提出議案第18号）  
討論なし。  
採決  
異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第18号 原案可決  
令和7年度別海町下水道等事業会計補正予算（第3号）（町長提出議案第19号）  
討論なし。  
採決  
異議なし

委員の賛否	市川	吉田	高橋	伊勢	貞宗	宮越	田村	小椋	外山	今西	松原	中村	佐藤	戸田	西原
賛成	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
反対															

委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田  
委員長 7番 横田

議案第19号 原案可決  
閉会挨拶  
閉会 16:26